

資格認証 Q & A

Q 『資格認証って何?』『任意で取り組むものなのになぜ必須項目なの?』

A 『資格認証』は I T C の目標と不可分なものです。

I T C 会則の第 3 条には 「目標」として

「I T C の目標は、コミュニケーション能力と指導力の進歩的で質の高い訓練を通じて、自己向上の機会を地球規模で与えることにある」と記載されています。

『資格認証課程』は自己向上の機会のための具体的な学習計画プログラムと言えます。A P 本 (Accreditation Program) に記載されたプログラムに参加し課題をクリアして、認証を受けることにより自己向上の過程を具現化しています。従って『資格認証』は I T C のすべてのレベルにおいて必須項目です。

Q 『資格認証課程の歴史は?』

A 資格認証課程は、1980 年のセントルイス大会に於いて正式に決定されて発足し日本では 1981 年にクラブに資格認証委員会が発足しました。
以来どのレベルに於いても資格認証委員会は必須の委員会です。

Q 『資格認証課程のレベルは?』

A 継続的な訓練の課程は 5 つの段階で構成されています。

コース I E C (Effective Communicator) 効果的なコミュニケーター

コース II P C (Proficient Communicator) 上級コミュニケーター

コースⅢ SC (Skilled Communicator) 熟練したコミュニケーター

コースⅣ AC (Accomplished Communicator) 熟達したコミュニケーター

コースⅤ DC (Distinguished Communicator) 卓越したコミュニケーター

*参加者は通常コースⅠから入り、順番に進んでも良いし設定されている
コースの順番を変えて進んでも良い。

但し、コースを完了し証明される順番は、位置付けられたコースの順番に
すること。

Q どのタイプのAP本でもサインは受けられますか？

A どのタイプのAP本でもサインは受けられます。

AP本は新旧併せて数タイプあり、それぞれに日本語の翻訳版があります。

また新マスターマニュアル第3章の課題表を使ってもサインは受けられます。

今期リージョン資格認証委員会から日英併記の新AP本が発刊されています。

Q 資格認証課程コース取得を早めるには？

*例会や会合毎に自分の担当がAP本に記載されているサイン箇所に該当して
いるか目を通し、あれば該当の資格認証委員会のサインをもらう。

*クラブ例会で認証課程のプログラムを行い、会員のサイン取得を促進する。

(例) コースⅠ：朗読、詩の朗読、自己紹介のスピーチ、部分評価など

コースⅡ：ディスカッション、ディベート、教育（10~15分）など

コースⅢ：ストーリーテリング、ブックレポート、ブックレビュー

対話による評価など